

# 2014 年原水爆禁止国民平和大行進

## 北海道—東京（日本海）コース通し行進者 山内金久さん日誌

5月3日(土) 札幌の北海道原水協事務所にて道内通し行進者3人と東京からの山口逸郎さんと私の5人が、北海道平和行進実行委員会会長の工藤さん、北海道原水協事務局長の嶋田さんのもとに打合会を行う。終了後、事務所前で記念撮影。

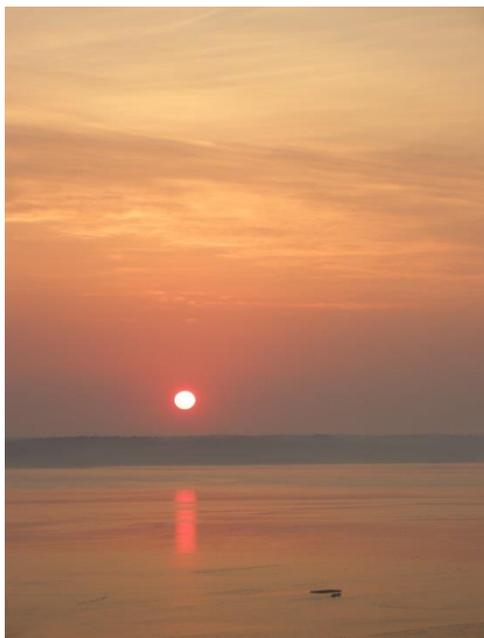
5月4日(日) 特急で4時間、釧路に着き、矢臼別平和委員会で活動している深津恵太君の出迎えをうける。矢臼別の演習場を案内していただき、平和委員会事務局長の吉野さん、別海町議の滝川さんなどを紹介された。



先日、自衛隊演習で155ミリ砲弾が“誤射”され、埋め戻されていた現場。



5月5日 早朝、お供山展望台から厚岸湾の日の出を撮る。



深津君の案内で厚岸水鳥観察館ハイド、風蓮湖、春国岱、霧多布岬などを見学できました。

夕方、指定の前泊宿泊の三洋館到着。さすが、根室は寒い！



6日 朝食後、納沙布岬へ向かう。今年は雪が多くて学校が4日間も臨時休業し、路肩には未だ残雪あり。

10時、霧雨も上がり、出発式開始。釧路原水協の坂本さんの司会、根室市労連の中山議長のあいさつ、日本共産党市委員会・市議の橋本さんの激励あいさつをうけ、私が通し行進のあいさつ、決意表明と「原爆を許すまじ」「青い空は」をメドレーでトランペット演奏。参加者の皆さんが合唱。

食後、出発式の様子を日本原水協と日本共産党板橋地区委員会へ写真も添付し送信する。

夕食まで「出発式を終え元気にスタートした」と書いて20枚の絵はがきを投函。

7日(水) 9時、根室市役所をトップに自治体表敬訪問開始。

11時、浜中町役場。13時半、厚岸町役場。15時、釧路町役場。

4自治体、2労組の訪問でペナント13本、多くの協賛金をいただく。どこでも大歓迎され、板橋区の幼稚園、小学校を卒業したという教育長さんがいて話が弾んだこと、普段とは違う平和や政権批判の本音の話をする理事者に驚く同席の議員さんの感想にあらためて安倍政権の行き詰まりを実感。夕方の釧路平和行進と集会では、寒い中で小学1,3年生女子児童をはじめ50人が参加。



8日(木) 9時、釧路市役所。10時半、白糠町役場、  
午後は浦幌町役場、農協。豊頃町役場、農  
協。池田町役場、農協。ペナント13本、  
多くの協賛金。



9日(金) 曇りのち晴れ

9時、幕別町役場、商工会。芽室町役場、農協。

14時、帯広市役所。副市長が懇談の中で「都市提携している自治体のこどもたちの交流事業を広島会場にやったらどうかと考えている」と発言。同席の市議が「是非」と応じた。本日のペナントは14本、多くの協賛金。

10日(土) 晴れ。富良野市に入り、午後、コープ札幌ふらの店、JAふらの店にて署名と募金活動。反原発国会「金官」行動で知り合ったご夫婦と再会、署名行動に参加してくれた。「原爆を許すまじ」に加え「北の国から」もトランペット演奏し宣伝行動を激励。参加者がかつてない177筆の署名数に驚く！



11日(日) 晴れ。

10時、野花南駅で芦別平和診療所の10人ほどの皆さんの「平和マラソン」が出迎えを受ける。

11時、地元スーパー前で同診療所の皆さんと宣伝・署名活動。

午後は、芦別・赤平の勤医協友の会(会員約1500人)の花見であいさつ、訴え、そしてトランペット演奏。なんと隣の北区議をしていた矢口さんと懐かしい再会。夕食の交流会には、奥さんと息子さんが来てくれた。

12日(月) 晴れ

9時、芦別市役所。

9時半、赤平市に引き継ぎ、市内6ヶ所でマイク宣伝とトランペット演奏。

13時、赤平市役所。

16時、歌志内市役所。

本日はペナント5本、多くの協賛金。

13日(火) 曇り 後小雨、晴れ

マイク宣伝2ヶ所後、

10時、勤医協神威診療所にてデイサービスセンターにて20人ほどの皆さんにあいさつ、故郷合唱のさいトランペット演奏。その後、3人で平和行進。





12時、勤医協上砂川診療所にてあいさつとトランペット演奏。

板橋に堤さんという甥がいると話しかけてきた女性がいたので、私の知ってる人ですと応えた。



13時、上砂川町役場。ペナント3本、協賛金預かる。

移動途中でアイスクリーム全国コンクールで金賞受賞の岩瀬牧場でダブルサイズをごちそうになる。夕方、西願寺にて交流会。

14日(水) 9時、砂川市役所

13時、奈井江町役場。町長と記念撮影、交流会、雨降り出した中を美唄へ平和行進。引き継いで更に行進。



17時から交流会。13名参加。「通し行進者が去年来なかったが、今年は2人も来て励まされる。ひどい雷雨になり88歳なので来るのをやめようと思ったが、きてよかった。いろいろやっているが、後継者作りと思って高校前で宣伝署名活動を始めた。」などの意見が出された。

元気の秘訣はとの質問に、規則正しい生活、腹八分目、快眠快食快便、ウォーキングと趣味、そして気分転換を上手に行いストレスを貯めないことです、と応えた。

15日(木) 9時、美唄市役所は幹線コース通し行進者の山口さんが訪問。

私はお寺を11軒訪問。この日、新婦人の皆さんの商店街訪問も合わせ51件訪問し、協賛金10万円超。新婦人の皆さんが日常活動で開拓し広げている。

16日(金) 10時、江別市役所。

13時、平和行進。

14時半、原水協総会の後、通し行進者歓迎交流集会、25人参加。若い頃杉並にいたという山田さんのギターと一緒に伴奏し、「原爆を許すまじ」「青い空を」など合唱。



17日(土) いよいよ札幌入り。

朝の天気予報で、「風雨強く、寒い」というので、タイツをはきセーターを着、その上にゴアテックスのカッパを着て宿を出る。

9時半、出発地点野幌百年記念塔に50人ほど待ち受ける。

10時、出発。「いいね！コール」「そうそう！コール」

そして今年初めてという沖縄バージョン「イーヤー(嫌)サーサー・コール」を繰り返しながら

11時半、予定通り大谷地神社駐車場着。

12時半、同駐車場出発。13時半。万生公園着、新婦人の日本国憲法の横断幕と数人の子どもたちが小雨降る中、歓迎してくれた。すぐトランペットを取り出して、一緒にうたってもらった。



そして、3年目になるという子どものスピーチが宣伝カーから流れる。

「1945年、8月に広島と長崎に原爆がおとされました。たくさんの人々が亡くなりました。生きのこった人も、体がいたくなったり目が見えなくなったりしました。まだ生まれていない赤ちゃんも“被爆”しました。とてもこわいです。わたし(ぼく)の家族や学校のお友達が戦争で死んでしまったら悲しいです。みんなが楽しい気持ちでわらってすごせる平和な世界をつくってください。核兵器はいりません。原発もなくしてください。」

コールは「かくへいきはいりません！」「げんぱつはんたい！」「もう、せんそうをしないでください」「(ママ)おかあさんのわらったかおがだいすきです」「へいわなせかいをつくりましょう」



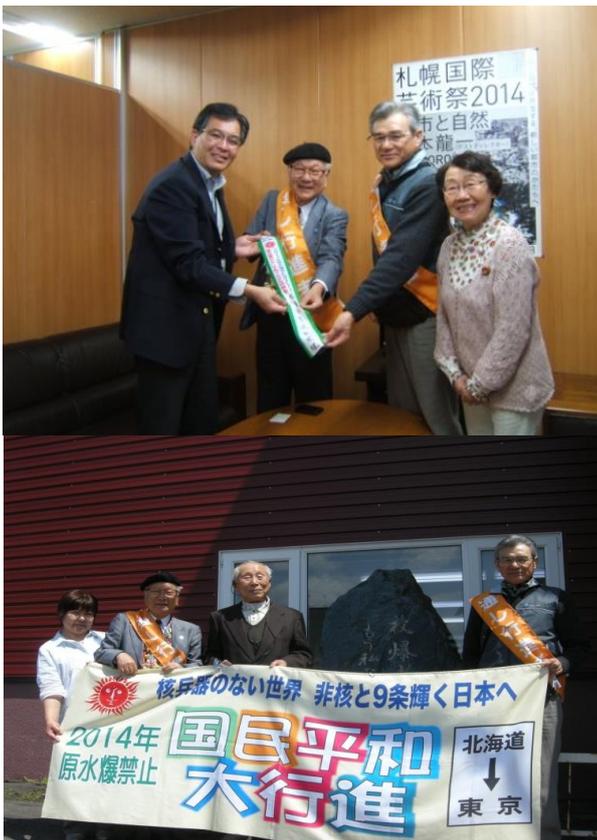


17時半、札幌・中島公園に札幌行進者計 550 人が集結し、全体集会。

「広島へ 長崎へ」の作詞者といっしょに私もトランペットを吹く。



19日(月) 晴れ  
10時、札幌市役所。



11時半、北海道ノーモアヒバクシャ会館訪問、記念撮影。

出迎えてくれた札幌被爆者の会会長の中村(91歳)さんが私の名刺を見て、自分も青森県出身で板橋区小豆沢に勤めていたとあって、握手をしてくれた。

